

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 14 / 2015 # 29

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『吹奏楽コンクール』

[2] Pepeのひとりごと

『引っ越し』

[3] おすすめ動画

『«Thomas Rüedi Library»』

『「演奏中どのように集中力を保つのか」 エマニュエル・パユ氏 日本語字幕：

Keita』

[4] 演奏のヒント！

『基礎はできてる？生きてる??』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『吹奏楽コンクール』

この時期、日本全国で吹奏楽コンクールがいろいろなところで行われていますね。

地区大会、県大会、支部大会が2学期が始まるまでに行われているようです。僕のFacebookのTL上でも、演奏者から、指揮者から、審査員からといろいろな視点からの「吹奏楽コンクール」の情報が飛び交っています。

それをみていると、いろいろな感情、価値観が吹奏楽コンクールという一つのものを通じて知ることができ、とても興味深いと感じました。

音楽のコンクールに関わらず、世の中は良い悪いで判断する必要のないものがあります。

音楽のコンクールも、そのひとつだと僕は捉えています。
それなのに仕事として良い悪い（点数をつけるという意味で）の判断をしないといけない審査員は本当に大変です。

一つのことに向かって精一杯努力をする。そしてそれを見た（聴いた）第三者の意見を受け取ることは、本当にいい経験となると思います。

僕自身も、今年は生まれて初めて吹奏楽部の顧問として吹奏楽コンクールの舞台に指揮者として立ちました。
いやあ、あんなにタイムスケジュールがガッチガチで本番のけっこう前から水も飲めない環境でステージに上がるなんて、大変だあ！

ソロのコンクールでは、ステージの上まで水を持って上がることは普通のことなのですが（日本ではダメなのかな??）、吹奏楽コンクール（少なくとも愛媛県大会は）では、チューニング室へ向かう前の集合時間から本番までは一切水分補給ができず（涙）。
演奏した人たちは本当に大変ですね！みなさん、すごい！！！！

今年の吹奏楽コンクールは、僕の今までの人生の中で一番印象に残ると思います。
一緒に演奏したメンバーにも本当に感謝しています。
精いっぱい努力をして、できることを本番でしっかりやってくれました。

願わくばいい結果も欲しかったけど、コンクールに至るまでの過程は、本当にいい経験となりました。

メンバーたちも、一つのことに向かうにあたっての心構え、覚悟、自分の活動に対しての周りの方たちからのサポートへの感謝などなど、いろいろなことを一緒に学べたと思います。

この経験を、ぜひこれからの人生に活かしてってもらいたいと思います！

コンクールに出場したみなさん、お疲れ様でした。
結果にかかわらず、その経験を未来の自分のために活かせるようこれからも前を向いて進んでいきましょう！
音楽創りを楽しんで！！:D

[2] Pepeのひとりごと

『引っ越し』

音楽とは関係ないことなのですが、ただ今引っ越しの準備でバタバタと
しています。

僕個人ではちょうど9年ぶりの引っ越しなのですが、大きな引っ越し（家族
みんなで、かつ長距離）は本当に久しぶりです。

いやあ、かなり覚悟はしていましたが、実際にこの時期が来ると、本当に
キツイですね（笑）。

しっかり優先順位を見定めながら、少しずつ着実に進めていこうと思っ
ています！

今住んでいる愛媛県松山市での生活もあと10日を切りました。

バタバタしすぎないで、空気を感じながら過ごしていこうと思ってます！ :D

[3] おすすめ動画

『«Thomas Rüedi Library»』

[https://www.youtube.com/watch?
v=VhTG0idY6II&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=VhTG0idY6II&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

スイス在住の名Euphonium奏者、Thomasのはじめた新しい
プロジェクトの紹介動画です。

僕はこの紹介しか見ていないくて中身がどのようなものは知らないの
ですが、Thomasのことは知っています。

彼はとても穏やかで紳士的な賢い人です。

演奏はとっても繊細。音楽的アプローチも説得力があり、魅力的な演奏を
します。

このプロジェクトでは、スイスから離れている日本でも質の高い勉強が
できると思います。

本当にやる気のある人、ぜひチャレンジしてみてくださいね！！ :D

『「演奏中どのように集中力を保つのか」 エマニュエル・パユ氏 日本語字幕： Keita』

[https://www.youtube.com/watch?
v=9eufLKEdr8Q&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=9eufLKEdr8Q&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者、
エマニュエル・パユ氏のマスタークラスからの動画です。

日本のチューバ奏者、木村圭太氏が日本語字幕を付けてアップしてくれました。

字幕がないときからこの動画は見ていましたが、やっぱり日本語字幕があるほうが広く宣伝しやすいですね（笑）。

彼が説明していることは、とても大切で重要なことだと思います。ぜひ参考にしてみてください。

[4] 演奏のヒント！

『基礎はできてる？生きてる??』

僕がよくやる練習のひとつなのですが、みなさんは「同じ音量で吹き続けてみる」という練習方法をやったことはありますか？

ソロの曲でも吹奏楽の曲でも、なんでもいいので自分で範囲を決めて、その範囲をずっと同じ音量で吹いてみる練習をしてみてください。

- ・小さい
- ・中くらい
- ・大きい

の3種類できるといいですね。

範囲は、あまり広くないほうがいいです（20小節程度ずつ?）。この練習をすると、自分で気がついていない音量の変化（変わってしまっているところ）や、同じ音量で吹くとどのようになるのかを知ることができます。

それを知った上で、楽譜に書かれている指示通りに演奏することを心がけてみると、付けたい変化がよりわかりやすくなってきますよ。

この練習をするときには必ずメトロノームと一緒にやりましょう。例えば、課題曲でマーチをやっている人なんかは、とても効果的な練習になりますよ。

このように音量を変えて吹いても同じテンポで同じように吹ける人は、基礎がしっかりしているし、その基礎が曲の演奏中でもちゃんと生きていると言えます。

反対にうまくできない人（小さくは吹けても、大きく吹くと遅れてしまう・・・など）は、基礎があっても、曲を演奏している時にはその基礎がうまく生きていない状態なんだと言えます。

ぜひ試してみてください！！ :D

編集後記

この夏は、生まれて初めてのバンドを率いての吹奏楽コンクール（指揮者として）出場、そして自分が中心となる初めての大きな引越しを経験しています。

コンクールは無事に終わり、今は引っ越しの準備に毎日追われています。・・・とはいえ、なかなか進めることができないままなのですが（笑）。

来週になるといよいよカウントダウンができるので、どんどんと片付けて不慣れた生活環境にしていこうと思っています！！（不便になるのが嫌でなかなか進められていない状況なんです。笑）

大阪に引っ越してからもすぐにリハーサルがあったりするので、体調には気をつけながら、練習も維持してがんばって過ごそうと思います。

次回のメルマガは大阪からの配信です！！ :)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com